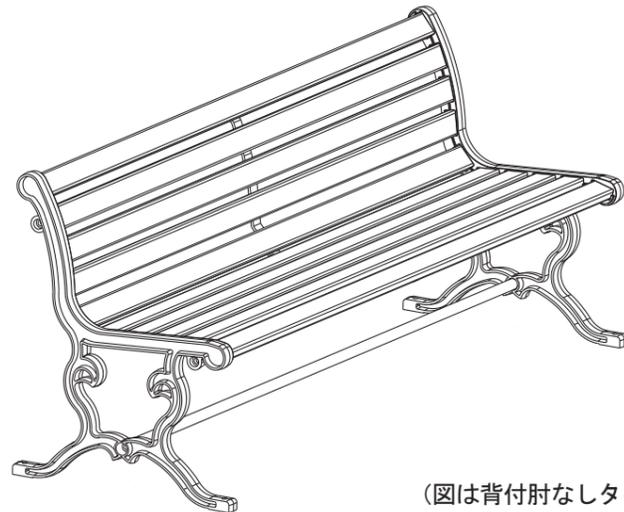


ベンチ背付肘なしECO YB-73L-WN
 ベンチ背なしECO YB-74L-WN

取扱説明書

このたびは当製品をお買上げいただきまことにありがとうございます。
 末永くご愛用いただきますよう、この取扱説明書をよくお読みの上、
 正しくご使用いただきますようお願いいたします。



(図は背付肘なしタイプです)



安全に関するご注意

安全にお使いいただくため、ご使用前に下記「注意」をよくお読みの上、
 正しくお使いください。
 この説明書は大切に保管してください。

注意

この製品を管理される方を定め、下記の相手に対して各々の注意内容がもれなく伝達される様に
 この説明書を取扱ってください。

●この製品は腰かけ用ベンチです。用途以外の使用はしないでください。

〈設置時のご注意〉

- 水平な面以外の場所には設置しないでください。転倒事故の原因になります。
- 強風の当たる場所には設置しないでください。転倒事故の原因になります。
- 滑り易い場所には設置しないでください。転倒事故の原因になります。
- 安全の為、アンカーボルト止めの施行を行ってください。転倒事故の原因になります。

〈管理者へのご注意〉

- ベンチの上で立ち上がったり、とびはねたりしないでください。製品の破損や転倒事故の原因になります。
- 背もたれに乗ったりしないでください。製品の破損や転倒事故の原因になります。

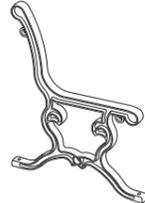
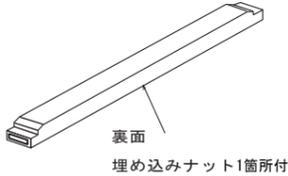
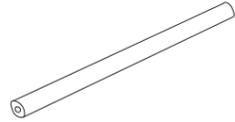
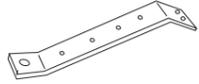
〈保守者へのご注意〉

- 製品の分解、改造は絶対にしないでください。事故の原因になります。
- ネジの緩みがないか、の安全点検を行い、緩みがあれば使用を中止し、締め直してください。
 そのまま使用すると事故の原因になります。
- 定期点検を行い、木製部分にひび割れが生じた場合は使用を中止してください。
 事故の原因になります。

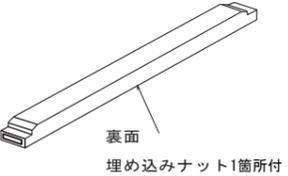
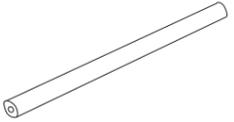
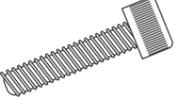
1. 部 品

※組立てる前に部品点数・数量をよくお確かめください。
 もし、不足部品がありましたら、すぐにお買い上げ店または弊社支店・営業所へご連絡ください。

背付肘なし

| 部品名 | 部品図 | 数量 |
|---------------------------------|---|-----------|
| 1. 脚(左・右) |  | 左・右 各1 |
| 2. 木板 (リサイクルウッド) |  | 10 |
| 3. 連結パイプ |  | 3 |
| 4. 背板用金具 |  | 1 |
| 5. 座板用金具 |  | 1 |
| 6. 背板・座板金具 固定用ネジ(短) M6×12 |  | 2 |
| 8. 木板用ネジ (長) M6×20 |  | 10 |
| 9. 六角穴付 ボルト M10×40 |  | 6 |
| 10. スプリング ワッシャー |  | 6 |
| 11. 六角レンチ |  | 1 |

背なし

| 部品名 | 部品図 | 数量 |
|--------------------------|---|-----------|
| 1. 脚(左・右) |  | 左・右 各1 |
| 2. 木板 (リサイクルウッド) |  | 6 |
| 3. 連結パイプ |  | 3 |
| 4. 背なし用金具 (背なし用) |  | 1 |
| 5. 木板用ネジ (長) M6×20 |  | 6 |
| 6. 六角穴付 ボルト M10×40 |  | 6 |
| 7. スプリング ワッシャー |  | 6 |
| 8. 六角レンチ |  | 1 |

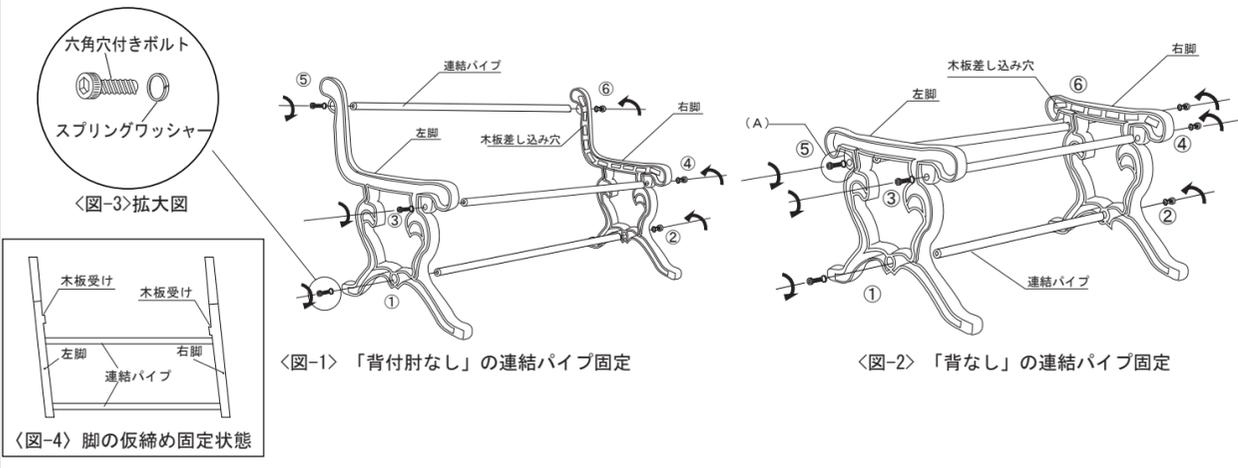
2. 組立方法

※ 下の図の順番に従って組立てください。

※組立て前に⊕ドライバー（大）をご用意ください。
 ※本体、床に傷がつかないように組立場所にダンボール、不要な毛布等を敷いてください。
 ※組立て作業は、2人で行ってください。

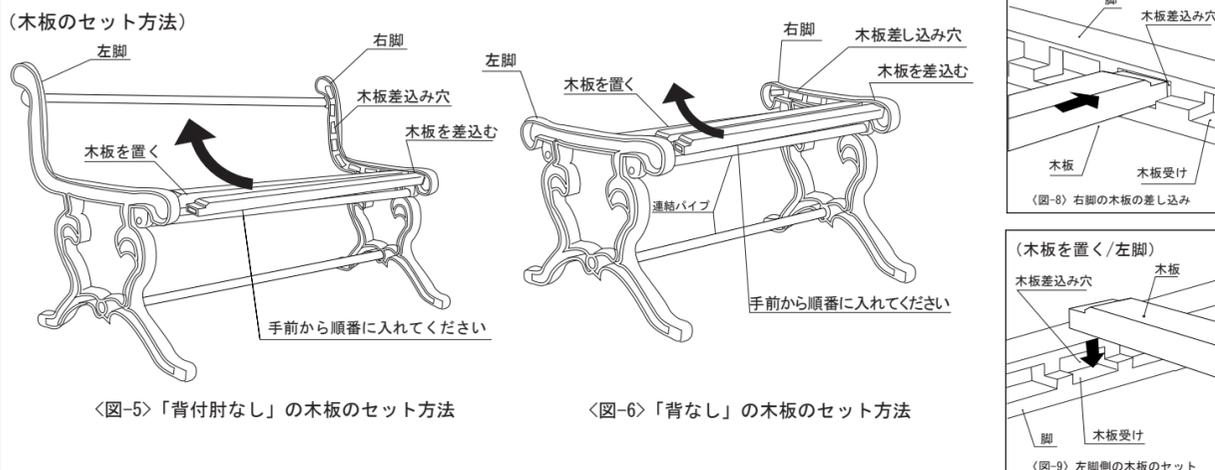
[1] 脚と連結パイプを止めます。(仮締め)

- (1) 木板の差し込み穴があいている面が内側になるように脚を向かい合わせにしてください。
- (2) 3本の連結パイプを<図-1, 2>の①~⑥の順番に六角穴付ボルトにスプリングワッシャー<図-3>を使用して、ネジ穴に掛かってから、5~6回転させて<図-4>のように脚が少し斜めになるよう仮締めしてください。決して締めすぎないようにしてください。



[2] 木板を脚に差し込みます。(背付肘なし-10本 背なし-6本)

- (1) 木板は埋め込みナットの付いている面が下になるように差し込んでください。
- (2) 木板は必ず手前から順番に、また左右のどちらか同じ脚側（図は右脚側）から入れてください<図-5, 6>。
- (3) まず、右脚側の木板を、右脚の木板差し込み穴の奥に当たるまで差し込み<図-8>、次に左脚側の木板を左脚の木板受けの上に載せてください<図-9>。このとき、<図-7>のように脚を斜めにすれば楽に木板を置くことができます。
- (4) 木板をすべて脚の上に乗せましたら、[1]で締めた六角穴付ボルトを、今度は六角レンチで少しずつ締めて左右の脚の差し込み穴に挿入してゆき、木板を上へ上げても抜けなくなるまで仮締めします。このとき、完全に締めきらないで軽く仮締めしてください。



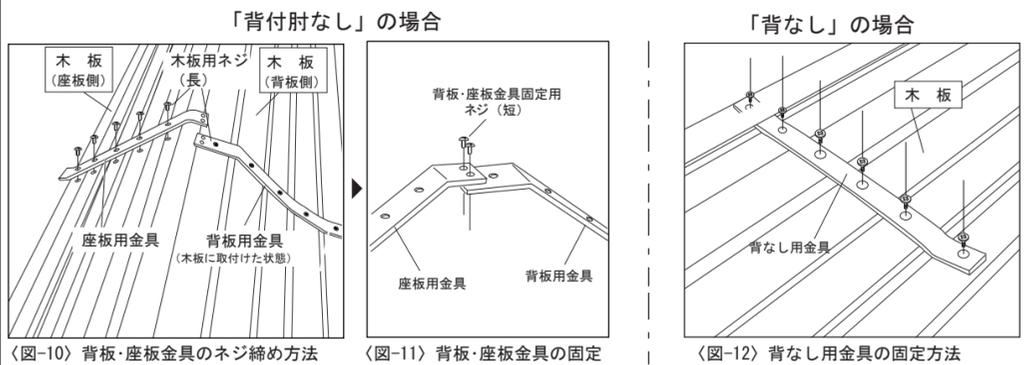
[3] ベンチ本体を裏返し、木板に連結金具を取り付けます。

●「背付肘なし」の場合

- (1) ベンチ本体を裏返し、まず背板用金具を木板の埋め込みナットが見えるように位置を合わせて、木板用ネジ(長)5本で軽く締めて仮締めしてください。次に座板用金具を同様に木板用ネジ(長)5本で軽く締めて仮締めしてください<図-10>。
- (2) 背板用金具と座板用金具を背板・座板金具固定用ネジ(短)2本で軽く締めて仮締めしてください。<図-11>。
- (3) 仮締めが終わりましたら、木板とそれぞれの金具が垂直になるように、12箇所のネジを強く締めてください。

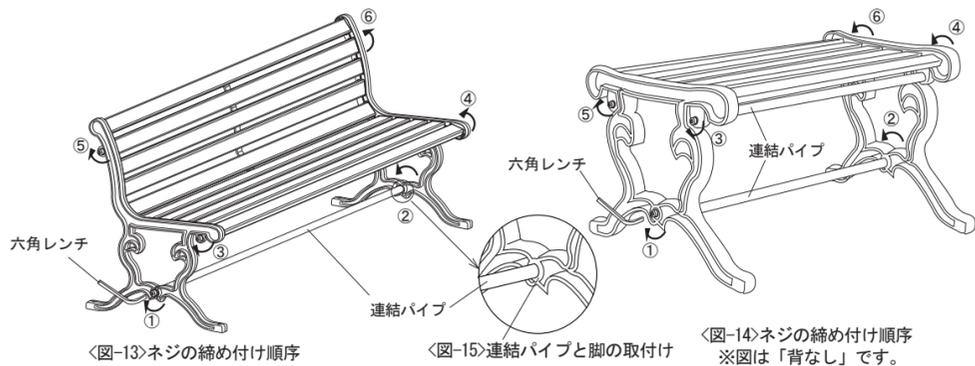
●「背なし」の場合

- (1) ベンチ本体を裏返し、背なし用金具を木板の埋め込みナットが見えるように位置を合わせて、木板用ネジ(長)6本で軽く締めて仮締めしてください。<図-12>。
- (2) 仮締めが終わりましたら、木板とそれぞれの金具が垂直になるように、6箇所のネジを強く締めてください。



[4] 6箇所の六角穴付ボルトを六角レンチで強く締め付けて作業は完了です。

- (1) [1] ~ [3] の全ての組立が完了しましたら、ベンチを立ててください<図-13, 14>。
- (2) 最後に、3本の連結パイプが脚に完全にはまっているか確認しながら<図-15>、六角レンチを使用し6箇所の六角穴付ボルトを強く締めてください。<図-13, 14>。



3. お手入れ方法

普段のお手入れ : 柔らかい布で拭き取ってください。
 汚れた時 : 木部... 固く絞った柔らかい布で拭いてください。
 脚部... 薄めた中性洗剤で拭き取ってください。洗剤が残らないように水拭きし、後に柔らかい布で拭き取ってください。

4. 廃棄される場合

○ 廃棄される場合は専門業者又は、公的機関にご相談ください。